

AWFC：北十勝ファーム(有)											
	項目		項目詳細	基準	現況	自社現況詳細	1step	2step	3step	達成	
①飢えと乾きからの自由	飼料		安全性	NonGmo飼料及びカビ等に汚染されていない、良質な飼料	△	証明書(NonGmo) 国産原料飼料	自給飼料の栄養成分把握			定期的分析	
		育成・肥育牛	繁殖牛	栄養・嗜好性	栄養バランスの取れている 好んで食べる	○	発育毎の給仕				
		繁殖牛				△	一部購入牧草	良質牧草の給仕	ステージ 毎給仕	完全自給牧草	
		育成・肥育牛	繁殖牛	給餌量制限の有無	空腹ストレスがかからない	○	給餌制限なし				
		繁殖牛				△	分娩前給餌制限(分娩時間調整)	ステージ 毎給仕		ステージ 毎給仕	
	水		天然湧水	都道府県別の衛生基準を満たしている	△	放牧地に一部飲水施設なし 水質検査なし	1年に一度の実施			放牧場の飲水施設設置	
			飲水量制限の有無	潤沢で自由に飲めること	△	天然湧水・制限なし				給水器の管理	
②不快からの自由	飼育環境	子牛(一部)	飼育面積	母乳での親子管理 ※母乳及び母牛の問題(一部)	△	ハッチ管理(1頭/1.6㎡)	生後3週間後の運動場設置			運動場の確保	
		育成・肥育牛		運動スペースの確保	△	季節によって密飼い	育成牛 7㎡以上 肥育牛 8㎡以上			通年基準 スペース確保	
		繁殖牛			△	季節によって密飼い 5~11月放牧地				12~4月運動 スペース確保	
		肥育牛	飼育方法	放牧地と運動場・自然交配	△	牛舎内	雌牛の2シーズン放牧	去勢牛の 2シーズン放牧			2シーズン放牧
		繁殖牛			○	季節放牧・親子放牧					
		育成・肥育牛	暑熱・寒冷対策	正常な体温を保てる温度	△	牛舎内の換気				換気扇	散水・換気扇
		繁殖牛			△	放牧地の内に山林を組込む 寒冷時の子牛ジャケット	寒冷時の分娩対策			子牛の寒冷対策	
					×	放牧地対策なし	カラスの侵入防止対策	アブ対策	駆除	カラスによる 分娩事故なし	
				野生動物侵入防止策	動物侵入防止策を行っている	△	場内の菌バランス				寒気と新鮮な 空気
				病原体侵入防止策	病原体侵入防止策を行って	○	冬季以外は常時開放 悪臭対策				寒気時にヨロ イが着かない
			新鮮な空気の確保	常時新鮮な空気と交換できる	○					近距離での屠 畜	
	床		不快感を感じない床面	発酵床、乾燥土間による敷料管理	△	完熟堆肥による敷料管理	コストと敷料	寒冷時対策			
輸送		不快感を減らす	運搬距離と輸送方法	△							
③痛み、傷、病気からの自由	痛み・傷		断尾・除角		○	なし					
			去勢	ストレスの防止 感染症予防	△	1~2ヶ月時にリング去勢 健康状態を把握の上実施	去勢方法の模索				
			削蹄	蹄の動きを正常に保つ 蹄病の予防	△	不定期に実施	蹄の状態を把握と適切な削蹄			蹄よる疾病予 防と正常発育	
			鼻環		△	種牛のみ装着	鼻環の変形の防止				
	病気・疾患		早期発見体制	牛舎見回り・管理表の記載	△	発育・分娩率・死亡率等による変化で確認	早期治療・予防対策				
			疾病対策	推奨ワクチネーションプログラムの実地	○	ホメオパシーによる予防 気腫疽・コクシジウム対策	レメディーの選択			事故率の低下	
疾患牛の分別管理			疾患牛の別飼育・適切な投薬	△	特段なし						
④正常行動発想の自由	正常行動		身繕い器具	行動欲求緩和	×	設置なし					
			運動場	不快環境の緩和	△	飼育環境参照				適正飼育密度	
			交配方法	自然交配	○	牧牛による自然交配					
			親和行動	相互身繕い行動	○						
⑤恐怖や悲しみからの自由	恐怖		農場スタッフ	飼育員との信頼関係	△	牛との信頼関係					
			治療方法	治療を抑えるための総合的な管理	△	注射針を減らす管理				人間を恐怖に 思わない	
			分娩		△	分娩時の子牛対応					
			親和行動	相互身繕い行動	△	飼育密度・ストレス緩和					
			屠畜		×	今後の課題					
●その他	AW教育	肉牛全般	飼育員へのAW教育	農場スタッフのAW理解	△	AWの社内掲示	定期的AW勉強会			AW理解	
			世界基準	OIE規約		OIE規約の理解	海外視察			日本に於ける 食肉文化と世界 基準の理解	